

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究に関するご質問等がありましたら、下記当院の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象となる方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ます。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合にはご連絡いただければ研究対象としません。

記

研究機関名	地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
整理番号	26-608
研究の名称	当院へ救急搬送された低体温患者の社会背景、栄養学的特徴と予後の検討
総研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日
試料・情報の利用を開始する予定日	2026 年 8 月 19 日
研究の対象	2023 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の間に、当院救命救急センターへ低体温症で救急搬送され、入院治療を受けられた方
研究の目的	低体温症で救命救急センターに運ばれる患者さんには、寒さといった環境だけでなく、お一人暮らしなどの「社会的な背景」、慢性的な「低栄養状態」、持病や「フレイル（加齢による心身の衰え）」が複雑に関係していることが多いと言われています。本研究は、過去に当院で治療を受けられた患者さんのデータを調べることで、これらの背景（生活環境、栄養状態、心身の衰えなど）が、実際の治療経過や回復にどのような影響を与えているかを明らかにします。この研究を通じて、救命率の向上や、退院後の適切な生活支援・再発防止に役立てることを目的としています。
研究の方法	過去の診療記録（電子カルテ）から患者さんの生活環境、栄養状態、治療内容、その後の回復具合などのデータを集め、それらの関係性を統計学的に比較・分析します。
研究に用いる試料・情報の種類	試料：なし 情報：電子カルテに記載のある診療記録、年齢、性別、入院の原因となった病気やケガの診断名、持病（既往歴）、普段飲んでいるお薬、救急搬送時の状況（発見場所や生活環境など）、来院時のバイタルサイン（意識レベル・血圧・体温など）および血液検査データ、入院中の栄養管理の内容（使用した栄養剤や種類など）、治療経過（入院日数、人工呼吸器の使用日数、合併症の有無など）、治療の結果（転帰・退院先）等

個人情報の取扱い	患者さんを直接特定できる氏名や住所等の個人情報は、利用する情報から削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
お問い合わせ先	＜当院の連絡先＞ 地方独立行政法人 堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 所属：救命救急科 研究責任者：田根 志帆 住所：大阪府堺市西区家原寺町1丁1番1号 TEL：072-272-1199(代表)

作成日：西暦 2026 年 7 月 14 日（第 1 版）